

平成 24 年度九州歯科大学附属病院歯科医師臨床研修概要

1、管理型臨床研修施設

九州歯科大学附属病院（研修施設番号 050029）

所在地：北九州市小倉北区真鶴 2-6-1

臨床研修施設長：寺下 正道

研修管理委員会：九州歯科大学附属病院臨床研修管理委員会

研修プログラム統括責任者：臨床研修センター長 寺下 正道

指導歯科医師数：65名（予定）

指導医師数：6名（予定）

協力型施設：106施設（予定）

協力施設：10施設（予定）

2、研修プログラムの名称

九州歯科大学附属病院歯科医師臨床プログラム A（研修プログラム番号 050029201）

九州歯科大学附属病院歯科医師臨床プログラム B（研修プログラム番号 050029202）

3、研修の概要

歯科医師臨床研修の目標は、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力（態度、技能及び知識）を身に付け、生涯研修の第一歩とすることである。

4、研修のねらい

- 1) 歯科医師として好ましい態度・習慣を身につけ、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立する。
- 2) 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- 3) 歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身につける。
- 4) 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- 5) 歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
- 6) 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度

- ・習慣を身につける。

7) 専門的知識や高度先進的医療に歯科医療に目を向け、生涯研修の意欲への動機付けをする。

8) 歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

5、研修の目標

歯科医師臨床プログラム A, B に共通する目標を挙げる。

[一般目標]

患者中心の全人的医療を理解した上で、歯科医師としての人格を滋養し、すべての歯科医師に求められる基本的・総合的な歯科診療能力を身につけ、生涯研修の第一歩とする。

[具体的目標]

- ・歯科医師としての倫理観を養い、患者・家族に信頼される。
- ・歯科の健康上の不安や障害を排除する。
- ・Problem Oriented System を理解・実践する。
- ・自ら行った処置の予後を予測する。
- ・歯科健康保健の保持増進のための助言・援助をする。
- ・インフォームドコンセントを尊重し、患者に十分な説明を行い、同意を得る。
- ・歯科診療上の偶発的な事態に適切に対応する。
- ・常に能動的で研修意欲を持つ。
- ・将来の目標を確立する。

6、研修期間

1年（平成24年4月－平成25年3月）

7、処遇

- (i) 身分：非常勤職員
- (ii) 給与：月額122,800円、交通費 日額上限550円（平成22年度実績）
- (iii) 勤務時間：8時30分－17時15分
- (iv) 休暇：年次休暇あり
- (v) 時間外勤務及び当直：有

- (vi) 宿舎：なし 控室及びロッカー室：有
- (vii) 保険：政府管掌健康保険・厚生年金・雇用保険・労働災害保険を適用
- (viii) 健康管理：B型肝炎ワクチン接種、健康管理室有
- (ix) 歯科医師賠償保険：自己負担
- (x) 外部の研修活動：学会、研究会等への参加は認めるが費用は自己負担

8、各研修プログラムの概要

○プログラム A（一般歯科研修コース）

複合型研修方式：九州歯科大学附属病院総合診療科（専門外来、臨床研修協力施設での研修を含む）；4か月、
協力型臨床研修施設（2施設）；8か月（4か月×2施設）

定 員：20名

プログラム責任者：（主）木尾哲朗（総合診療学分野・准教授）

（副）栗野秀慈（保健医療フロンティア科学分野・講師）

○プログラム B（総合歯科研修コース）

複合型研修方式：九州歯科大学附属病院総合診療科（専門外来、臨床研修協力施設での研修を含む）；8か月、
協力型臨床研修施設（1施設）；4か月

定 員：90名

プログラム責任者：（主）細川隆司（口腔再建リハビリテーション学分野・教授）

（副）北村知昭（齲蝕歯髄疾患制御学・教授）

（副）山下善弘（形態機能再建学分野・准教授）

（副）永松 浩（総合診療学分野・助教）

（副）鬼塚千絵（総合診療学分野・助教）

9、出願書類

○プログラム A, B

- 1) 志願票（所定様式）
- 2) 履歴書（所定様式）
- 3) 成績証明書
- 4) 志願理由（250字以内）